

スクールジーンファーム2011地域の生物多様性の保全

第46回全国野生生物保護実績発表会で林野庁長官賞を受賞しました

餅井眞太郎・井上万葉子・池尻大貴・飯塚 翔・猶原早貴
(兵庫県立大学附属高等学校 自然科学部生物班)

はじめに

レッドデータブックが全国版・兵庫県版と作成された。その中に私たちのまわりに自生している多くの植物もまた絶滅の危機にあることを知った。これらの植物が地域から絶滅しないように、平成16年度より、兵庫県立大学附属高校自然科学部生物班では「地域の絶滅危惧種の保全と増殖」を共同研究のテーマとして、自然科学部生物班は活動を開始した。

これまでの8年間の活動について第46回全国野生生物保護実績発表会で報告し、審査の結果、林野庁長官賞を受賞しました。

発表内容（活動の内容）

1. 地域に生育する絶滅危惧種の自生地での植生調査
(例) 湿地・塩沼地・シイ林など
2. 絶滅危惧種の栽培による、地域個体群の保存
(例) ムラサキ・サギソウ・フジバカマ・ヒシモドキ・ミズトラノオなど
3. ローコスト・ローメンテナンスの栽培技術の開発
(例) 高価なオートクレーブを使わない無菌培養技術
水切れによる枯死を防ぐ、底面貯水槽付きプランター
ペットボトルを加工した、底面貯水槽付き植木鉢
4. 絶滅危惧種や生物多様性に関する市民への啓蒙活動
(例) 生物多様性国際シンポジウムにおけるポスター発表
たつの市まちづくり塾での、植生調査結果から、問題点と改善策の提言
姫路市役所・市立温室植物園でのポスター掲示
5. 他の生物多様性の保全に関わるグループとの連携・情報交換
(例) 大阪ガス姫路製造所でのムラサキの移植
人と自然の博物館「共生のひろば 発表会」の参加
6. 絶滅危惧種を活用した環境教育キットの開発
(例) ヒシモドキの環境教育キット
他 ムラサキ、カワラナデシコなどで試作中

これからやってみたいこと

- ・兵庫県産ムラサキを大量増殖して、国産ムラサキ染めに挑戦する。
- ・多くの植物が培養できる、安価な無菌培地の開発。
- ・高価な設備を必要としない微酸性電解水添加培地による無菌培養技術で、多くの絶滅危惧種の増殖に取り組む。
- ・地域の小学校や他の自然環境保護グループと連携をする。
- ・地域の環境についてどのような問題が発生しているのか、多くの市民に知ってもらう。
- ・学校のビオトープにシカが侵入しないようにして、多くの絶滅危惧種が栽培できるように整備する。